

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 月 日

事業所名 川越ゆめの園

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|----|-----------|-----|--|------------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 0 | 6 | 3 | ・利用者を班に分けて分散して活動している。 | ・班での活動の充実を図る。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 8 | 1 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか | 0 | 3 | 6 | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 2 | 7 | 0 | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | 4 | 0 | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか | 7 | 1 | 1 | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | 4 | 2 | | |
| 適切な支援の提供 | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | 4 | 0 | ・事業所内研修の開催。 | |
| | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 5 | 0 | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 2 | 7 | 0 | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 6 | 3 | 0 | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | 4 | 0 | | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 7 | 0 | | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | 3 | 0 | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 8 | 1 | 0 | | |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | 5 | 0 | ・終礼議事録に残し、その日がお休みの職員も確認できるようにしている。 | |
| | ⑰ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | 3 | 0 | ・業務支援ソフトの導入。 | |
| ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 2 | 6 | 1 | | | |
| | ⑲ | ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 4 | 4 | 1 | | ・放課後等デイサービスガイドラインの職員周知を図る機会を設けていく。 |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか | 6 | 3 | 0 | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 8 | 1 | 0 | ・学校とはFAXを利用しての連絡、ご家族とメールを利用して連絡をとっている。 | |

| | | | | | | | |
|--------------|----------------------------|---|---|---|---|------------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 5 | 3 | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 1 | 6 | 2 | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 3 | 6 | 0 | | ・同法人内の通所施設はもちろん、他事業所にも情報提供している。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 6 | 1 | | ・発達支援専門研修への参加。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 2 | 5 | | ・コロナ禍のため交流図れず。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 5 | 3 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 7 | 2 | 0 | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか | 1 | 6 | 2 | | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | 3 | 0 | | |
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | 3 | 0 | | ・発達支援専門研修のペアレントトレーニング研修等、外部研修に参加していきま |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 5 | 3 | | ・コロナ禍のため交流図れず。 ・事業所を開放しての家族会となるとスペースの狭さが課題になってくるため、同法人内の他施設を借りてのイベントや家族会を開催していきたい。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 1 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | 1 | 0 | | ・隔月で広報誌の発行。 ・Twitterの利用。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 9 | 0 | 0 | | ・個人情報保護同意書の取り交わしを行っている。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | 3 | 0 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 6 | 2 | | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | 5 | 0 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 3 | 6 | 0 | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | 3 | 0 | | ・事業所内研修にて虐待防止研修開催。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | 4 | 1 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 6 | 0 | | |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 7 | 2 | 0 | | ・部署別会議や朝礼、終礼で周知を図っている。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 日 事業所名 川越ゆめの園 保護者等数(児童数)33 回収数 15 割合 45%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|---|----|-----------|-----|-----------------------------|--|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 4 | 10 | 1 | ・もう少し広くても良いのではないか。 | ・施設のスペースを広げることは難しいのですが、少人数の班に分けて活動することで窮屈さを解消していきます。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 11 | 4 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 7 | 1 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 12 | 2 | 1 | | |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 13 | 2 | 0 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 4 | 6 | 5 | | |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされたか | 12 | 1 | 2 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 12 | 2 | 1 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 7 | 5 | 3 | | |
| 保護者への説明等 | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 5 | 7 | 3 | | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか | 12 | 2 | 1 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 13 | 1 | 1 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 14 | 1 | 0 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 14 | 1 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。 | 12 | 2 | 1 | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 7 | 7 | 1 | | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 11 | 4 | 0 | ・楽しそうにしている。 | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 11 | 4 | 0 | ・休日だけの利用なので、おおむね安心して利用している。 | |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

| <p>部署名：川越ゆめの園</p> | |
|--|---|
| <p>管理者： 木村 祐樹</p> <p>児童発達支援管理責任者： 松前 一輝</p> <p>指導員：新井 彩、宮野 優子、池畠 純花、中田 智子、大竹 結花、 大谷 恵子、善本 和子、吉野 明子、木村 秀貴</p> | |
| 課題及び改善点 | 改善内容及び工夫 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用訓練室と利用者のスペースについて ・ 父母の会について。 ・ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談や、必要な助言について。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数の班に分けて活動を行うことで、人数を分散させていきます。 ・ 事業所内での開催はスペース的に困難なため、同法人内の他施設を借りて行うなどの対応をしていきます。 ・ 埼玉県が主催する発達支援専門研修に参加し、必要な知識を得ながら対応していきます。 |